

「わたしと生協」

「個配があるの？」

一人目出産後、家を訪ねてきてくれた営業の方への私の第一声は確かこれでした。物心ついた時から愛媛の実家では母が近所の方たちと生協をしていました。私の生協に対するイメージは、週に一度のおしゃべりタイムで、リフレッシュに良い反面、お休みするときや留守にするときに迷惑をかけてしまうというものでした。産後、買い物もままならない時期は頭から無理だと思っていた私には個配があることが驚きでした。

もともと、生協さんのほうれん草ムースやキャロットムース、イワシバーグといった商品で苦手を克服した経験のある私にとっては、品質も安心、鮮度も安心、毎週のカatalogを見る楽しみも、さらにママ割りで配送料が生後2年まで安いなんて、渡りに船といった感じでした。さっそく夫へプレゼンすると、夫の実家の近所に生協の店舗があり、「いいんじゃない？」と言ってもらい、生協ライフは始まりました。

慣れるまでは一週間に届く食材の把握など試行錯誤しましたが、それよりも週に一度の配達の間が、主人以外の成人と顔を見て話のできる良い機会になりました。慣れない土地で育児をしていると、子どもの病気などでママ友にも会えない、公園にも行けないなど外出もままならず、子どもと二人で主人の帰りを待つだけの時間もたくさんありましたから、とても心待ちにしていたのかもしれません。

その時の子どもがもう4歳、安心して妊婦生活をして生まれた2人目ももう2歳、ママ割り期間も終わり、配送担当の方もたくさん変わられました。私自身も近くに生協店舗のある場所に引っ越しましたが、まだまだ続けています。きっと配送担当者さんたちの心遣いや気持ちの良い対応がうれしいのと、家庭に入っている私にとっては社会との接点にいるからだと思います。共同購入のグループでの利用も楽しそうなのですが、今の自分のライフスタイルに合った方法を選択できる場所も大きな魅力だと感じています。

食の安全について大きな問題が浮上している世の中で、安心して

生活できるのは幸せなことですし、カタログでも生産者さんの顔やレシピなどがあり私の大事なフレッシュタイムです。でも、私が生協さんのお世話になり続ける一番の理由はやはり、人と人のつながりにあるように思います。ありがとう、生協ひろしまさん！！

広島市 安佐南区 田中 容未